

メディア掲載情報

媒体名	薪ストーブライフ
掲載号	No.24
掲載日	2015年6月30日
掲載内容	HOMRAの紹介記事

メーカー系国産薪ストーブ 日本メ



HOMRA M638 仕様(参考)	
サイズ	W700xD386xH826mm
最大薪長さ	400mm
材質	鋼板
容量	100kg
燃焼方式	薪割燃焼式
取付方式	クレンジング
備付	対震(2015年9月現在)

地震国ニッポンの救世主となる 薪ストーブを開発

HOMRA M638

ホームラ M638
カブデンアーキテック株式会社

大地震の時に頼もしい 対震消火ダンパー搭載薪ストーブ

スチール製室内階段やアルミ手すりの製造を主に手がけるカブデンアーキテック。そんなアルミ製品メーカーが薪ストーブ製造に足を踏み入れたのは東日本大震災が理由という。工場が計画停電のエリアに入っていたため、寒さで震え上がっていた。それを起爆剤に「大地震時に消火できる薪ストーブ」が出来ないだろうかプロジェクトが結成された。

1か月後にスチール製の試作1号機が完成。その後20回を超える試作を繰り返した。その過程で試しにアルミ製にもチャレンジしたが、融解温度が低く失敗もしたが、その末、HOMRAが完成した。

搭載されている対震消火ダンパー「K・E・S・S」(Katzden Emergency Shut down System)は、震度5弱以上の横揺れ時に給気と排気を同時に閉じる仕組みとなっている。これによる安心感は薪ストーブユーザーであれば良くおわかりのことだろう。

今年、HOMRAはさらに洗練された新型をリリースする。スペイン人インダストリアルデザイナー、アレグレ・マルセロのデザインによるHOMRA M638がそれだ。オリジナルの力強さをスポイルせずにヨーロッパテイストを配したデザイン。HOMRAらしさと強度を兼ね備えた表面のエンボスは継承されている。そして燃焼システムを一新して、いよいよ薪ストーブの世界に本格参入する。



③



④

坂田清茂

kiyohige sakata
カブデンアーキテック株式会社
代表取締役

東日本大震災は、私にとっても大きな転機点でした。ライフラインが途切れても薪さえあれば「燃料」「明かり」「料理」の三役を物理的に担い、そして人に恵しを与えてくれます。地震に対して無策だった自分を反省し、大地震でも薪ストーブによる延焼が避けられるようなシステムを考えなければならぬと思い、完成したのがHOMRAです。燃焼システムに関しては専門外でしたが、試行錯誤の結果、再燃焼システムを搭載したクリーン排気のHOMRA M638が完成しました。(坂田)

28 薪ストーブライフ

©カブデンアーキテック株式会社 <http://www.kdat.jp/homra> ☎0495-76-1311



本記事の内容は雑誌・媒体掲載時の情報です。
発表内容・製品仕様など発表当時と現在とで異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。